

全国手話通訳問題研究会の知事表敬（来訪）について

1 日 時

令和8年1月23日（金） 14：00～14：15

2 場 所

知事会議室

3 来 訪 者

- | | | | |
|--------------|------|--------|------------|
| (1) 次世代活動委員会 | 担当理事 | 間舩 博 | (まふね ひろし) |
| (2) 次世代活動委員会 | 委員長 | 前田 健吾 | (まえだ けんご) |
| (3) 次世代活動委員会 | 副委員長 | 小野尾 一秀 | (おのお かずひで) |
| (4) 次世代活動委員会 | 委員 | 加藤 大貴 | (かとう だいき) |
| (5) 次世代活動委員会 | 委員 | 石亀 友香 | (いしがめ ゆか) |
| (6) 次世代活動委員会 | 委員 | 高橋 好美 | (たかはし よしみ) |
| (7) 宮崎県支部 | 支部長 | 満平 一夫 | (みつひら かずお) |
| (8) 宮崎県支部 | | 満平 ほたる | (みつひら ほたる) |
| (9) 宮崎県支部 | | 高橋 祐哉 | (たかはし ゆうや) |

※ 全国手話通訳問題研究会（組織図別紙）

聴覚障がい者と手話通訳者の社会的地位の向上を目指して、手話や障がい者問題についての研究・運動を目的に、昭和49年結成。全都道府県に支部。会員約1万人。宮崎県支部84名。手話通訳士、通訳者等の資格は問わない。

4 来訪目的

全国手話通訳問題研究会では、次世代を担う青年層会員の拡大・育成を目的に、平成27年に「次世代活動委員会」（N-A c t i o n）立ち上げ。

以来、毎年、全国各地で「合宿」を開催し、聴覚障がい者の暮らしを学び、聴覚障がい者が抱える課題や手話通訳活動のあり方などについて、忌憚なく話し合う場を設けている。

今回は、この合宿を本県で開催する（九州では初）ことや、団体の活動の現状及び今後の計画などについて報告するために来訪。

5 「N-A c t i o n 合宿」 in 宮崎

日 時：令和8年1月24日（土）、25日（日）

場 所：宮崎公立大学

参加者：約60名（全国から参加）

6 トピックス

（1）手話施策推進法の施行（令和7年6月）

手話が重要な意思疎通の手段であることを明記。国・地方公共団体の責務として、手話の習得・使用に関する環境の整備や手話文化の保存継承、並びに手話に関する国民の理解と関心の増進などが定められた。

（2）2025東京デフリンピックの開催（令和7年11月）

1924年に始まった聴覚障がい者の国際大会で、日本では初開催。70～80か国・地域から、選手約3,000名（うち日本268名）が参加。宮崎県出身者は5名。

（3）日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ（令和9年9月～）

手話・要約筆記ボランティア募集中（手話400名、要約筆記200名）。今後、宮崎県聴覚障害者協会の協力を得て、ボランティア養成予定。

（4）宮崎県の施策

ア 手話通訳者養成・派遣

イ 要約筆記者養成・派遣

ウ 盲ろう者向け通訳、介助員養成・派遣

エ 手話通訳者設置

7 その他の事項

（1）（7）（9）の満平一夫、高橋氏は、過去に複数回、聴覚障がい関係で知事表敬経験あり。他は初対面。（1）～（6）は県外からの来県。